

まつやまの今・これからに 

岡 ゆうや

【次の4年、重点的に取り組む8つの視点】



まつやまの今・これからの応える、一緒に一步を。

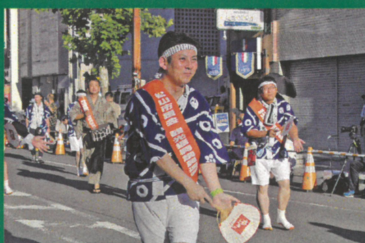
3期目の4年間、すべての定例会で発言を重ね、皆さまと積み上げた政策提言は、100を超えました。

暮らしの中で感じる小さな違和感や不安は、そのままにしておく、やがて大きな課題になります。私はこれまで、課題を個人の頑張りや善意に委ねるのではなく、「制度と仕組み」で無理なく支え続けることを軸に、12年間、議会活動に取り組んできました。

誰かの「無理」や「我慢」の上に成り立つ安心は、長く続くものではありません。その思いを胸に、今の暮らしに本当に合っているかを確かめながら、提言を積み重ねてきました。

多岐にわたる提言の一つひとつは、皆さまの「声」そのものです。すべての課題に簡単な答えがあるわけではありません。それでも立ち止まらず、この積み重ねを、まつやまの確かな未来へとつなげていきます。

まちづくりは、行政だけでも民間だけでも前に進みません。だからこそ、力を重ね、責任を分かち合いながら、地域の仕事や生業が守られ、雇用が生まれ、経済が回り、暮らしが続いていく循環を共につくっていきます。



次の4年で、重点的に取り組む8つの視点

— 暮らしと未来を支える判断と実行 —

1. 子育てを家族ごと支え、応援する

妊娠期から出産、産後ケア、健診、日々の育児まで、母子に限らず家族全体を切れ目なく支え、安心して子育てに向き合える環境を整えます。

2. 多様な学びを支え、育ちにつなげる

保育・学校・放課後の居場所をつなぎ、発達や特性にも配慮しながら、一人ひとりに合った学びを選べる幅を広げます。

3. 負担を減らし、子どもと向き合える時間をつくる

子どもの育ちや学びを支える現場を担う人たちが専門性を発揮できるよう、業務や体制を見直し、子どもと向き合う時間と関係性を大切にできる体制を整えます。

4. 暮らしの安心に、寄り添う支援

日々の不安や不便に向き合います。制度の分かりにくさを解消し、身近な地域課題の一つひとつに、誠実かつ着実に対応します。

5. 防災を、実行できる体制に

BCP や事前復興まちづくり計画の策定を進め、訓練や関係機関との連携を通じて、災害後も立ち止まらずに命と暮らしを守り抜く実行力を備えます。

6. 必要な人に、支援が届く制度を

生活や移動に不安を感じたとき、年齢や障がいの有無に関わらず、必要な支援に迷わずつながり、その人らしい暮らしにつながる仕組みを整えます。

7. 暮らしを支える、医療と健康のかたち

地域の医療体制を堅持し、食や生活習慣を含めた健康づくりを通じて重症化を防ぎ、治療や療養と両立しながら、自分らしく暮らし続けられる環境を整えます。

8. 事業者と地域経済を動かす基盤づくり

企業誘致や事業継続につながる条件を整え、投資や新たな挑戦が生まれ続ける環境をつくることで、地域経済が前に動き続けるための基盤を築きます。



まつやまの今・これからに答える、一緒に一歩を。

「まつやま」という言葉には、行政の枠を越えて広がる、人の暮らしと地域のつながりがあります。

医療も、防災も、日々の暮らしも、一つの市だけで完結する時代ではありません。

だからこそ、一つひとつに向き合いながら、今に答え、これからを見据えた判断を、責任をもって積み重ねていきます。

岡 雄也（42歳・現在3期目） 妻・長女12歳・長男7歳

学歴・職歴

愛媛幼稚園
松山市立桑原小学校
松山市立桑原中学校
愛媛大学農学部附属農業高校
松山大学法学部
株式会社うら
衆議院議員塩崎恭久 秘書
市議会議員 3期目(H26初当選)

主な役職

松山駅周辺整備調査特別委員会 委員長
議会運営委員会 副委員長
松山市議会政策研究会 会長
自由民主党松山支連 総務会長・青年局長
茶道裏千家淡交会 松山青年部 副部長
全国若手議員の会 顧問

あなたの“気になる”
こと、ご相談ください

LINE
公式アカウント



岡ゆうや選挙事務所 松山市畑寺2丁目4-5 TEL 089-993-6884

頒布責任者：土井明文（松山市東野5-7-9）印刷者：アマノ印刷株式会社（松山市東石井1-10-30）